

Ⅲ 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市

安心ネットワーク形成プロジェクト構想

1 市民主体の健康づくりの推進

自殺ゼロのまちづくりの実現に向けて

■自殺予防対策事業

【衛生費】(継続) 85万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

一人暮らし高齢者のかたに寄り添って話を聴くなどの、相手が生きることの意味と価値を見出すための援助が大切です。市民を対象に、峰山総合福祉センターに講師を迎え、「傾聴講座」を開催して、相手の心の声を「聴く」ことの意味、「傾聴の基本や心構え」などを学習します。

また、悩み苦しむ多くのかたが無料で電話相談できるように「こころの相談電話」「京都いのちの電話」へ接続します。



自殺予防傾聴講座

(相談窓口)

京丹後市内から、固定電話・携帯電話で下記の番号に掛けていただければ無料で利用することができます。

無料電話相談窓口

- ◇「こころの相談電話」
(京都府精神保健福祉総合センター)
☎ 0120-689-874
(月曜日～金曜日) (9時～12時・13時～16時)
- ◇社会福祉法人「京都いのちの電話」
☎ 0120-689-107
365日・24時間

市民の健康を守ります

■健康増進計画市民アンケート経費

【衛生費】(新規) 126万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

平成19年度から10年間の健康増進計画は、中間年である平成23年度に見直しすることとしており、その中間評価と見直しのための基礎データを収集するために、市民3,000人を対象にアンケート調査を実施します。



健康増進計画ダイジェスト版

■健康づくり推進員活動支援事業

【衛生費】(拡充) 184万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

平成21年度に各地区から健康づくり推進員が推薦され、平成22年度から2年間地域の健康づくりの推進役として活動します。

健康づくり推進員自身が健康づくりのための知識を持ち、自分や家族の健康づくりをすすめるとともに、地域での健康づくり活動が活発にできるよう研修を行います。

※平成22年3月31日現在の健康づくり推進員 225人

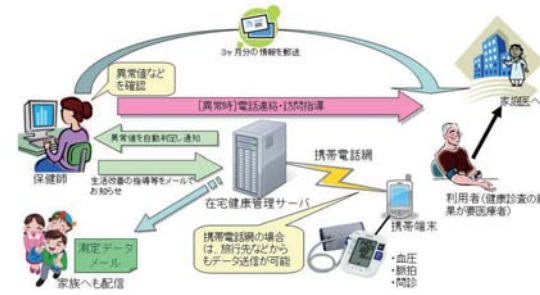


在宅での健康管理

■在宅健康管理システム事業

【衛生費】(新規) 377万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

市の総合検診を受診されたかたで、血圧などの健康管理が必要なかたを対象に、専用の携帯端末機を貸与し、自宅で測定した血圧や脈拍などのデータを市役所にメール送信することで、必要に応じて健康アドバイスを受けられるようにし、在宅での健康管理を進めます。(200人に貸し出し予定です)



■妊婦健康診査事業

【衛生費】(継続) 4,008万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

妊婦が病院などで受診する妊婦健康診査の公費負担回数について、1人あたり基本健診14回と、超音波や免疫検査などの検査項目ごとの追加受診12回分を助成し、経済的な負担を軽減することで、安心して出産を迎えることができるよう支援します。



妊婦健診

妊婦口腔衛生の向上

■妊婦歯科健康診査事業

【衛生費】(新規) 83万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

妊娠中は歯周病にかかりやすく、その影響で低体重児出産や早産のリスクが高まることから、妊婦の口腔衛生を向上するため、妊娠中の歯科健診1回分の費用を一部助成します。



■総合検診事業

【衛生費】(継続) 1億1,195万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

身近な公民館などの会場を巡回し、一度に受診できる総合検診として、「特定健康診査」と各種がん検診などを引き続き実施します。また、平成21年度からはじまった「女性特有のがん検診」(子宮頸がん・乳がん)の検診手帳およびクーポン券の配付などにより検診受診を勧奨します。

生活習慣病の予防および疾病の早期発見・早期治療のため、まず「検診を受けること」から健康への意識を市民自ら高められるように保健指導なども行います。



総合検診

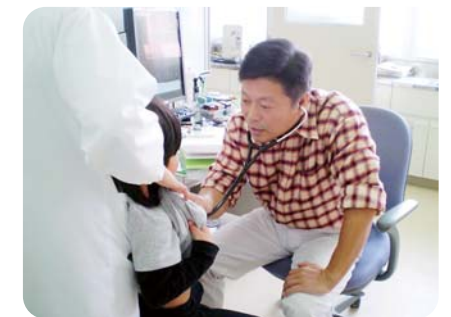
2 医療保険制度の一層の充実

申請はお早めに

■子ども医療給付費

【民生費】(継続) 1億3,789万円
(健康長寿福祉部 保険事業課)

お子さんの健やかな成長を願い、乳幼児・小学生・中学生が医療機関で受診された場合、保護者が支払われた自己負担金の一部を助成します。この制度により、自己負担が1医療機関あたり1か月200円となります。



受診する子ども